

えのん保育所等訪問支援プログラム

| | |
|-----------|--|
| 総合的な支援の方針 | <ul style="list-style-type: none"> 相手や自分を大切にし、思いやりや協力の気持ちを育てながら、まわりと温かく関わるよう情報を共有し、検討していきます。 情報共有によって御家族の心配事と子どもや先生との困りごとの違いをなくし、全員の共通理解を図り、同じ目標で支援を検討できるようになります。 先生や友達、地域の方と信頼関係を築き、相手の優しさや温かさを受け入れ、困ったときに助け合える関係を育て、安心して過ごせる環境を整えていきます。 訪問の回数を重ねることで、さまざまな場面を観察し、支援方法の検討の幅を広げていきます。 訪問記録報告で御家族と本人の会話のきっかけや、褒める機会を増やし、お子さまの自信や「頑張りたい」という意欲につなげていきます。 |
|-----------|--|

| 項目 | 支援目標 | |
|--------------|---|--|
| 本人支援 | 健康・生活 | 普段の生活の中での困りごとや不安などの背景を丁寧に観察し情報を共有します。 自分の気持ちの落ち着かせ方を見つけ、体も心も健康で穏やかに過ごせるようにサポートします。 |
| 本人支援 | 運動・感覚 | 体の使い方や感覚的特徴を整理し、注意点を共有しながら、安全に取り組めるよう支援の統一を図ります。 |
| 本人支援 | 認知・行動 | 本人の分かりやすさや特徴を共有、把握しながら、意欲的に取り組み、自信を持って行動できるように解決方法を検討します。 |
| 本人支援 | 言語 コミュニケーション | 自分の伝えやすい表現方法を見つけていきます。自分の気持ちを言葉や体で伝えることを増やし、適切な表現方法を身につけられるよう支援します。 |
| 本人支援 | 人間関係・社会性 | 友達や先生、まわりの人との関わりを観察します。場面に応じた関わり方や協力の仕方について環境や支援の工夫、提案を行います。状況を判断し行動や気持ちを調整できるように支援方法を検討し、円滑な人間関係が育めるようにします。 |
| 移行支援 | 将来的な生活を見据えた支援が提供できるよう話し合います。ライフステージの切り替えや変化に応じた支援を検討します。本人、御家族の思いや意向を尊重しながら今後の生活に必要な力を身につけ日常生活が充実したものとなるように支援します。 | |
| 家族支援 | 観察の様子を詳しく訪問報告書で共有します。報告書を通し家族の会話やほめられる機会が増えるようにします。お子さまの困りごとや環境に対して適宜相談できる環境を整えていきます。必要に応じて面談を行い提案や助言を行います。 | |
| 地域連携 地域支援 | 関係機関と情報を交換し共有しながら連携が図れるように支援します。えのんにかかわる全ての人に笑顔が増えるように努めます。 | |

| | | |
|------|------------------|--|
| 訪問時間 | 平日 9：00～17：00 | 訪問場所：保護者様のニーズに応じて、小学校、中学校、高等学校、支援学校、幼稚園、保育園、こども園、児童クラブ、こどもクラブ、児童館等 |
|------|------------------|--|